株式会社岸本組

所在地 美唄市字光珠内652番地17

事業内容 建設業

従業員数 40人

（令和３年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

従業員の平均年齢も上がってきており、定期健康診断で要受診者やメタボリックシンドロームに該当するものが増えてきたため、会社として従業員の健康維持・増進に取り組むために健康経営優良法人を目指しました。

ヘルスアップチャレンジを経て2018年より健康経営優良法人の認定を頂いておりますが、定期健診後の要治療・再検査の受診率や特定保健指導の受診率が上がり、従業員の健康に対する意識も変わってきているのではないかと思います。

当社の経営方針の一つでもある『Humanity　働きやすい環境を作ります』をさらに推進できるよう、これからも積極的に健康経営に取り組んでいきたいと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

毎年どけんぽの保健師さんと管理栄養士さんによる健康相談を実施。昼食の菓子パンをサンドイッチに替えたり、従業員の健康に対する意識も変わってきています。

ウォーキングイベント『みんなで歩活（あるかつ）』に会社として参加し、役員や普段本社にいない従業員と競い合っています。メンバーの歩数が一目瞭然なので「足を引っ張りたくない」「負けたくない」という思いで普段より多めに歩いたり、昼休みに会社の周りを歩いたり良い運動になっています。

従業員の運動不足解消のため、全社的に毎日午後3時にタイマー予約をしたUSEN放送にてラジオ体操を実施。パソコンでの作業が多いため、肩や腰のコリがほぐれてリフレッシュに一役買っています。

社屋の出入り口には消毒液・体温計を配置。事務所内・打合せ室にはパーテーションやビニールシート等で飛沫対策、トイレには便座クリーナと消毒液・ペーパータオルを配置し、感染予防に努めています。

子の入学・卒業、授業参観等のアニバーサリー休暇の導入により、家族との時間を積極的にとることが出来るよう配慮しています。

現場事務所でどけんぽによる健康相談を実施

地域貢献と運動を兼ね美唄クリーン作戦に参加

ホームページ https://www.kishimoto-group.com/category/news/ヘルスアップチャレンジ健康事業所宣言/

道路建設株式会社

所在地 札幌市北区北7条西4丁目3番地1　新北海道ビル12階

従業員数 107 人

事業内容 舗装及び一般土木工事

（令和３年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では過去より社員の健康を気にかけていましたが、具体的な取り組みレベルにおいてはさほど進んでいませんでした。2020年に変わった経営トップの強い意向をきっかけに、健康経営の概念とリンクさせながら、社員の健康を向上させる様々な取り組みをスタートしました。

経営者にとって健康経営に取り組むことは自然な流れでした。「企業は人」であり、社員の健康は最も大切にしなければいけないことです。弊社は、社員が良い仕事をするためには心身ともに健康であるべきで、ウェルビーイングが向上することにより企業業績にも反映されると考えています。また、生産性の向上及び働き方改革を推進する上でも、健康経営に取り組むことは必然でした。

弊社はアウトプットを最大化していくためにエンゲージメントを高めたいと考えていますが、大前提として社員が健康体で充実感をもって仕事に取り組んでもらうことが必要だと感じています。社員が心身共に健康だからこそ一体感が生まれる土台があり、チームワークが向上することで組織が強くなり、社員全員が楽しく仕事をすることで、お客様及び社員がそれぞれ幸せになれるよう、健康経営に全力で取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

今年度より導入した「感染症予防特別休暇」では、新型コロナウイルスを含む全感染症を対象とし、就業時間中のワクチン接種を可能としました。予約が取りにくい状況下でも、社員のワクチン接種が進んでいます。また、「V休暇」も今年度より導入しました。これは性によって身体の構造が異なることに起因した休暇制度で、有給休暇を消化せずに生理や妊活等の休暇取得ができるため、仕事と不妊治療の両立も可能です。

働き方改革については、モデル事務所を設定して推進しています。残業を前提としない工程設定やITを活用して2時間までの残業制限等に取り組んでいます。また、週休2日の実施によって収入減となる日給月給制の作業員に補償給を導入する等、生産性を高める取り組みを行っています。

運動の推進も行っています。テレワーク導入に伴うオンラインでのラジオ体操やサークル活動制度の導入など、体を動かす仕組みを作っています。社員にも変化があり、工事現場によってはママチャリレースにエントリーするなど、意識が改善してきました。

社員は家族であり「どうしたら嬉しいのか」を考え、改革を進めています。これからも「働きやすく働きがいのある会社」を目指します。

社員意識向上の為ポスターを作成しました

毎朝WEB上で、ラジオ体操を実施しています

道路工業株式会社

所在地 札幌市中央区南8条西15丁目2番1号

従業員数 180人

（令和３年８月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

日常を快適に過ごすには、健康が第一です。従業員の健康意識を高めるには、従業員とその家族の安全と健康を維持し、働きやすく快適な職場をつくることが会社の責務と考え、健康経営に取り組んでいます。

会社施設内の禁煙や、働き方改革の一環として積極的な有給休暇の取得を促進し、リフレッシュできるような職場環境づくりにも力を入れています。

健康管理がより身近なものになるよう今後もより良い環境を整え、継続的な健康経営に取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健診は、受診費用や腫瘍マーカー等一部オプションを会社にて負担し、対象者全員が受診できる制度を設けています。全従業員の定期健診を行うことはもちろんですが、再検査・精密検査を促進し、さまざまな病気の早期発見・早期治療や、病気そのものを予防することに取り組み、生活改善につながるよう再受診率100%を目指しています。その結果、従業員の健康管理に対する意識が変わっているように見受けられます。

また、全社員を集めて行う社内研修において健康に関する講師を招いての講話を実施し、毎年1年間の安全を祈願する安全祈願時にコミュニケーションの一環として、ゲーム大会やBBQをすることにより、風通しの良い職場づくりを行っています。

現在、各事業所に非接触型体温計や手指の消毒液を入口に設置して、コロナ感染症対策を行っています。

社内研修　健康に関する講師を招き講話を実施

各事業所に非接触型体温計を設置

株式会社中山組

所在地 札幌市東区北19条東1丁目1番1号

従業員数 238人

事業内容 建設業

（令和4年6月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

社員一人ひとりが健康管理を安易に考えず、健康の重要性を意識しながら仕事に臨んでもらうため、健康経営の取り組みが重要と考え健康経営を始めました。社員は会社の大切な資産であり、社員の健康を維持することは会社の責務と考えています。知識と経験を有する社員が能力を十分発揮するため健康維持に努め、若手社員が将来に安心が持てる職場環境を整えることが必要です。働き方の見直しを会社全体で意識し進めていくことで、社員一人ひとりのモチベーションのアップとワークライフバランスの満足度を高め、企業価値の向上を図ることにより、優秀な人材の確保にも繋がるよう取り組みをつづけていきたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健康診断の100%受診継続と、検査項目の充実した人間ドック・脳ドックの受診を推奨する補助金制度の利用促進を続けており、人間ドック・脳ドックの受診者は増加傾向にあります。また、健診後の再検査・要精密検査対象者に対する受診勧奨を継続し、早期の治療による重症化予防の取組の強化を続けております。社員の再検査受診に対する意識も変わってきており、受診率の増加に繋がってきています。

長時間労働対応については、毎月の中央安全衛生委員会での時間外状況報告と対応の協議を継続して実施し、年次有給休暇の取得状況の確認と取得促進も同時に行っており、両者ともに良い方向に向かっております。

新型コロナウイルス感染症の対策も、自治体等の情報や要請を注視しながら感染予防対策や感染への対応などを行うと同時に、社内体制の整備等必要な対応を継続中です。

土健保による健診後の健康相談・健康指導
(2022年4月)

（2022年6月～10月）
健康づくりを兼ねた地域貢献活動

ホームページ https://www.nakayamagumi.co.jp/healthup/

刈屋建設株式会社

所在地 岩手県宮古市刈屋11-80-3

従業員数 44人
（令和４年６月末現在）

事業内容 土木工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社では健康づくり担当者を設置してから数年が経ちました。活動に慣れて少し余力も出てきたので、土健保のヘルスアップチャレンジや健康経営優良法人への申請を検討し始めました。その結果、「健康経営」と特に意識はしていなくても、普段の取り組みが健康経営の項目に該当していることがわかりました。そこで健康経営優良法人のチェック項目に当てはめて今までの活動を整理し、課題を補うことで、さらに社員がいきいきと働ける環境を作れるのではないかと考えました。

建設業の現場では「安全」が最重要視されますが、「社員の健康は作業の安全につながる」と考えています。弊社は「女性活躍推進」にも力を入れており、現場の衛生管理も活躍の場の1つとしていて、女性社員による衛生パトロールを実施しています。この活動と連携しながら、これからも健康に関する取り組みや成果を「見える化」し、社員の健康意識の向上につなげていきたいです。

特に力を入れた取り組みとその効果

以前、弊社の現場事務所でインフルエンザが蔓延し、事務所を訪問した他社の方まで感染する事態となったことがあり、感染対策の必要性を痛感しました。そこで、会社がインフルエンザ予防接種費用の一部補助を行って予防接種を受けやすい環境を整えたところ、社員ほぼ全員が予防接種を受けるようになり、以後、インフルエンザ罹患者は出ておりません。その経験から、新型コロナウイルス感染症に対しても、地域で流行する前から感染対策をしっかりと行っています。女性社員による各現場事務所の衛生パトロールでも、アルコール消毒液・除菌シートの補充や、感染する隙が無いかの点検及び助言に力を入れています。さらに、感染症予防の啓発ポスターを掲示して社員の意識を高めています。今後も取り組みを継続して行きたいと思います。

また、弊社には野球チームがあり、毎年「宮古市長杯ナイター野球交流大会」に参加しています。運動機会が増えるだけでなく、社員同士のコミュニケーションを促進する良い機会となっています。さらに会社で大会の参加費用を補助することで、社員が参加しやすい環境を整えています。

賞　状

優　勝

刈屋建設（株）

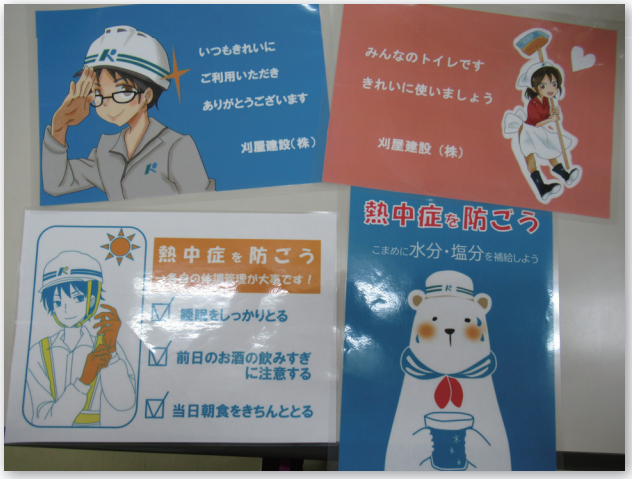
貴チームは第３回宮古市長杯ナイター野球交流大会において頭書の成績をおさめましたのでこれを賞します

平成３０年７月３１日

一般財団法人宮古市体育協会

会長　城内愛彦

平成30年の宮古市長杯で優勝しました！



女性社員作成の掲示物。皆が和んでいます。

株式会社佐々木組

所在地 岩手県一関市山目字中野140―5

従業員数 127人
（令和３年７月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は、多年にわたり、土健保の保健師さんより毎年保健指導を頂き、健康の大切さを経営者はじめ従業員も実感し、会社独自の健康づくりを実践してきました。

毎年の健康管理を通して、一人一人の従業員を大切にする弊社の企業理念は、従業員の健康を経営的視点から考え、戦略的に実施する「健康経営」と価値観を共有でき、健康経営を実践することで、より継続的な会社経営活動の活力と成長につながると考え、取り組むこととしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

年に1度の生活習慣病健診は大変重要で、疾病を発見することで、早期に治療するきっかけとなり、生涯において大きな影響を及ぼすことがあります。弊社では所見があった従業員にできるだけ対面で声掛けをして、医療機関への受診を促すことを丁寧に行ってきました。後日、感謝の言葉を頂くと励みにもなります。

また、メンタルヘルス対策として相談担当者を設け、職位・職種の垣根なく相談できる体制づくりに努めております。

さらに、感染症対策として毎年、産業医によるインフルエンザ予防接種を実施し、感染拡大の抑制に効果を上げております。

担当者間で創意工夫し健康管理を推進（密）

職場内での感染症対策

株式会社橋本店

所在地 宮城県仙台市青葉区立町27番21号

従業員数 189人

（令和3年8月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営に取り組む会社の増加を受けて始めた健康経営優良法人の申請でしたが、実際に申請をしてみると、今まで会社で取り組んでいた事が健康経営の項目に該当しており、特別何かを始めたというものはほとんどありませんでした。

普段から“健康経営”として意識をしていなくても、社員の事を考えて取り組んでいたら、結果的に“健康経営”という潮流に乗っていたという印象です。

今後は、社員一人一人の更なる健康意識向上を目指した取り組みをしていく事により、会社の健康状態も上げて行き、社員も会社も健康で優良になれるように頑張っていきたいです。

特に力を入れた取り組みとその効果

新型コロナウイルス感染症の流行前から、感染症対策に力を入れており、インフルエンザ予防接種の集団接種を会社負担で実施しています。また、新型コロナウイルス感染症が流行してからは、より一層の感染症対策を心掛け、除菌グッズや飛沫を防ぐパネル等を各現場に取り入れたり、社員にマスク手当を支給したりしています。

近年の取り組みとしては、仙台健康支援室の協力のもと、若手社員を中心とした保健指導として、レンジで簡単調理を学んだり、野菜不足チェックができるベジチェックの測定を行いました。今後は食生活の面からも社員の健康意識向上を図っていきたいです。

インフルエンザ予防接種

ベジチェックで社員の野菜不足が判明

ホームページ https://www.hashimototen.co.jp/

林興業株式会社

所在地 福島県いわき市植田町根小屋65番地の1

従業員数 28人

（令和４年６月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社が健康経営の必要を感じたきっかけは、社員の高齢化です。貴重な人材を守るためには、一人ひとりの健康意識を高めることが重要であると感じ、経営的視点からも健康づくりを推進している健康経営の考え方と一致しました。経営者と従業員が共に健康づくりに取り組むことは、会社全体の健康知識が高まるだけでなく、コミュニケーションも生まれ、心身の充実や働く意欲に影響し、働きやすい環境づくりにもつながります。社会の状況は刻々と変化しており、労務・健康管理者も頭を抱える場面が多くありますが、健康経営の知識を拠り所としながら、今後の方向性や問題点について考えることが出来ています。建設業界全体が抱えている慢性的な人手不足を乗り越え、未来につなげるためにも、健康経営の考え方を上手に取り入れた健康づくり活動を続けて行きたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病予防のため、定期健診時には、より検査項目の多い人間ドックを受診するよう促し、会社が費用補助を行っています。また、保健・栄養の啓発ポスターや声掛けなど、日々の健康指導を積極的に行ってきたことにより、特定保健指導の対象者はここ数年で減少しました。就業時間内に保健指導が受けられるようにするなど、健康づくりに配慮した職場環境の整備も、課題として取り組んでいます。

感染症対策として、ワクチン接種のため就業時間内に医療機関を受診することを可能としているほか、接種後の休暇制度を設けるなどして接種を促しています。また、検温・消毒・パーテーションを設置して感染拡大防止に努め、マスクの着用や行動制限についての情報は、随時、内容を従業員に分かりやすく伝えるようにしています。

ポスター等の掲示を随時行っています。

検温・消毒等を徹底しています。

株式会社復建技術コンサルタント

所在地 宮城県仙台市青葉区錦町一丁目７番25号

従業員数 420人

（令和３年４月末現在）

事業内容 建設コンサルタント

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社社長の菅原が就任した際、経営の柱として掲げた三つの方針のうちの一つが「健康経営」でした。何事も体が資本であり、社員にはまず心身ともに健康であって欲しいという思いが込められています。

そして、健康経営優良法人認定に挑戦したのは、その方針実現への取り組みを対外的にも認められるものにしようと考えたからです。

健康経営への取り組みは、特に若い方からの企業イメージアップにつながるのは勿論、社員に対するメッセージでもあります。弊社のような建設コンサルタントは人がすべて。社員の技術力と経験が資産かつ商品だからこそ、健康に留意して欲しい。その思いを発信することが大事だと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社では、定期健康診断でメタボ判定となった社員全員に特定保健指導を受けさせています。これをきっかけに食生活の見直しや自転車通勤に切り替える社員もおり、徐々にではありますが意識が変わってきたようです。また、土健保さんと「ベジチェック」を実施し、社員の野菜摂取不足の自覚を促しました。禁煙対策では、従来から分煙や喫煙時間を設けるなど受動喫煙対策を行っておりましたが、2018年からは禁煙外来治療費補助金制度を導入し、2021年に漸く第1号の申請がありました。今後もっと申請者が増えるようPRしています。感染症対策では、土健保さんの協力の下、『手洗いチェッカー』で感染予防の基本である手洗いがきちんと出来ているか確認しました。参加者からは「念入りに洗ったはずなのに意外に汚れている」と驚きの声。改めて手洗いの難しさ・大切さを学びました。長時間労働対策、ワークライフバランス推進では、WLB推進委員会を設置し、研修、工程管理方法の見直し、業務効率化検討、コミュニケーションの活性化などに取り組んでおり、定期的な報告会で好事例を水平展開しております。

手洗いチェック。結構汚れ残ってます。

ベジチェック中。野菜摂れていますか？

ホームページ https://www.fgc.jp/csr/employee/index.html

堀江工業株式会社

所在地 福島県いわき市平字尼子町60番地の1

従業員数 89人

（令和３年７月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康づくりに力を入れるそもそものきっかけは土健保の管理栄養士さんからの勧めで、初めの頃は社員各自に健康診断の結果から健康状態を把握してもらい、健康を守る程度でした。

しかし、経験豊かな技術者が大病で長期休業するという出来事があり、人数的に補充は出来ても、巧みな創意工夫・判断力・統率力などは到底補えないものがあることを痛感しただけでなく、その方が養っている家族のことも、会社の皆が心配しました。

この経験から、『健康経営』で会社と社員が共同で健康づくりを行う事は必要不可欠で、それにより双方がベストな方向へ進んで行けると確信しました。

以後、取り組み内容を徐々に増やして現在に至っております。

特に力を入れた取り組みとその効果

これまで様々な方策で健康の保持増進を図って来ましたが、近年は「健康」の根源たる「生命」さえも脅かす『新型コロナウイルス』の出現により、感染症予防対策の強化が最優先となりました。

当社はテレワークの実施等が難しい状況なので、社内感染や外部からのウイルス侵入の阻止に重点を置いています。

手指消毒液の設置・ペーパータオルの使用・全社員へのマスク配付を始めとして、抗原検査キットの準備や、抗体検査を社内で実施できる環境も整えました。

また、社員の全席や会議室にパーテーションを設置して飛沫を防ぎ、玄関にパーテーションと音声付き自動検温カメラを設置して、外部の方との動線を分けることと、高熱の方やマスクをしていない方の立入を禁止して、社内感染の発生を抑えています。

社員の各席と小会議室の
感染防止対策

玄関に音声付き自動検温カメラを設置

山形建設株式会社

所在地 山形県山形市清住町1丁目2番18号

従業員数 145人
（令和４年４月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は、山形県を中心に総合建設業として建築工事、土木工事、舗装工事を営んでおります。これまでも社員の健康管理はもちろんのこと、当社の現場で働くパートナー企業の作業員の健康管理についても積極的に取り組んで参りました。

健康経営に取り組むきっかけは、全国土木建築国民健康保険組合様より健康経営に関する情報提供を頂き、その趣旨に賛同して社員の健康管理を推進することにより、生産性の向上を目指していきたいとの思いからでした。

特に力を入れた取り組みとその効果

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の罹患者の発生は業務への影響が大きいため、現場や事務所を点検し、非接触型体温計や空気清浄機の設置など、感染拡大防止設備の充実を図っています。加えて、消毒液やペーパータオルの使用、定期的な換気の励行など職場環境を改善し、予防対策を徹底して体調の維持にも努めています。この数年、社内のインフルエンザ罹患者はゼロです。

従業員がいつでも自身で健康状態が確認できるよう、社内に血圧計と体重計を設置しています。毎日血圧測定を行う社員が少しずつ増えていて、健康意識向上に役立っています。今後も健康管理アプリ導入や健康イベント開催を予定しており、社員の健康増進に積極的に取り組んでいきます。

次亜塩素除菌脱臭機能付空気清浄機の設置

血圧計・体重計の設置

味の素エンジニアリング株式会社

所在地 東京都大田区蒲田5-13-23TOKYU REIT蒲田ビル2階（本社）　**従業員数** 208人

事業内容 食品工場建設・改修

（令和３年４月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

少子高齢化による生産年齢人口の減少により、労働力不足が顕在化しており、有能な人材確保のための競争が激しくなっている。

労働力確保のために従業員の雇用延長等を積極的に図らなければならない状況下であるが、高年齢になるにつれ、様々な疾患に罹患するリスクも高くなり、従業員の健康状態の悪化は企業の生産性を低下させることにつながる。更に、求職者からは、魅力のない企業と映り、人材の定着率の悪化等、有能な人材の確保にも悪影響を及ぼす可能性がある。

増加し続ける国民医療費は、健康保険組合等の財政悪化を招き、結果として健康保険料の上昇という形で企業負担の増加につながっている。このような企業負担の増加や生産性の低下を防ぐためには、健康保険組合や従業員に、個人やその家族の健康保持・増進の取り組みを委ねるだけでなく、企業が従業員等の健康保持・増進に主体的かつ積極的に関与する必要が生じていると感じた。

また、味の素㈱が健康経営優良法人（大規模法人部門）～ホワイト500～に認定されていることに伴い、味の素グループとして健康経営に取り組むこととなった。

特に力を入れた取り組みとその効果

通年の健康診断後に社員全員が保健師または産業医と面談を行うようにしている。面談を行うことで、健康診断結果だけではランク等を見て日常の生活で気を付けようと思う程度だが、高残業者はストレスチェックを毎月行い、職場環境と健康診断結果と専門家の指導と併せて継続的に様子を見ていくことで、安心して業務が出来る環境を作ることが出来ていると感じる。2020年新型コロナウイルスの影響で様々な変化があったが、テレワークを導入し通勤時間での感染リスクを削減することに取り組んだ。また出勤時にもなるべく安心して業務に取り組めるようパーテーションやアルコール消毒液を設置し、コロナウイルス対策関連に力を入れた。

飛沫対策としてパーテーションを設置

二酸化炭素計測器を設置し換気が行われているか確認

カジマ・リノベイト株式会社

所在地 東京都新宿区住吉町1番20号

従業員数 75人

（令和3年7月末現在）

事業内容 総合工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

もともと「会社の成長や生産性向上は社員の健康から」という組織としての考えがあって、そこに土健保の健康支援室担当者様の勧めが契機となって取り組みました。従業員の生活を健やかなものにするためには、会社が健康であることが必須であり、その為にも、従業員が心身ともに気持ちよく働ける環境を整える事で生産性の向上を図り、良いスパイラルを生み出していきたいと考えます。

現在は、会社のホームページでも社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して、健康づくりに取り組むことを宣言し、社内外にアピールしています。

特に力を入れた取り組みとその効果

本社では毎朝全てのドアノブを消毒しています。各フロア出入口前には、非接触自動検温・アルコール消毒器を設置し、執務室内には人の動きに沿った各要所に非接触自動アルコール消毒器を設置し社内外全ての人が手指の消毒に協力しています。また、応接室や会議室等の個室には加湿器付き空気清浄機や、加湿器付きサーキュレーターを設置し窓のない部屋にも配慮しています。また、各現場事務所でも同等の衛生管理を行っています。（感染症対策）

時間単位の年休取得制度を採用し、社員が通院しやすい環境づくりを努めております。（治療と職業生活の両立）

非接触自動検温・アルコール消毒器を設置

各執務室内に加湿器付きサーキュレーターを設置

飛島建設株式会社

所在地 東京都港区港南 1-8-15

事業内容 総合建設業

従業員数 1,353 人
（令和３年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

今後、会社が持続的に成長していくためには、多様な人材が集まり、自らの誇りと勤労意欲を維持することのできる、働きやすい職場環境の整備に一層力を注いでいかなければなりません。当社は、「会社と従業員が一体となり、皆が心身ともに健康で、活き活きと働ける会社づくりに取り組む」を方針として掲げ、「健康経営」に取り組んでいます。会社と従業員が「健康経営」の方針を共有し、有効な施策を立案、遂行することで、従業員の活力向上や生産性の向上等、組織に活性化をもたらし、結果的に業績や組織としての価値を向上させるものと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

①健康増進生活習慣病対策ほか:定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員に対する人間ドックの費用補助と受診促進、ワクチン接種や定期検診再検査等対応時の就業時間認定及び特休制度など、体の変化を見逃さない仕組みを作っています。また、「健康づくり情報キュレーションサイト」を開設し、健康増進体操、食生活の改善、禁煙対策といった最新の健康情報を従業員へ届けています。

②運動の推進:kencomで年に2回開催されている「歩活」を活用して「トビシマ健康イベント」を実施しています。イベントには9割以上の従業員が参加し会社一丸となって取り組みました。イベント期間中は自分の順位やチームの順位の話題などで盛り上がり社内コミュニケーションが活性化しました。また、2018年には数十年ぶりに社内運動会を開催しました。従業員だけでなくご家族にも参加して頂き、大いに盛り上がることができました。

③感染症対策:働き方改革の一環として推進しているテレワーク制度をさらに加速させ、オフィス内感染対策を徹底しております。オンラインツールの積極的な活用により、コロナ禍前と同等の企業活動の継続が可能となっております。

健康づくり情報キュレーションサイト「トビシマヘルスプロモーション」

2018 年社内運動会の様子

ホームページ https://www.tobishima.co.jp/company/health_management.html

一般財団法人土木建築厚生会

所在地 東京都中野区中野２－12－11 フランボワーズガーデン中野２階　**従業員数** ７人

事業内容 土木建築業に従事する方々の福利厚生事業

（令和４年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当会は、会員（土木建築業に従事する者及びその家族等）の健康の維持・福祉の向上を目的としている一般財団法人です。

健康経営は、当会の事業目的にもマッチしていて、かねてより役職員の健康管理・健康増進を進めてきましたが、本格的に取り組むきっかけになったのは、職員の高齢化と「健康経営優良法人2017」認定制度が開始されたことによるものです。

高齢化は、健康リスクも高まりますので、職員の健康意識を高めることで、自主的に生活習慣や食生活等、健康管理に取り組んでもらえるよう健康づくりを推進しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

新型コロナウイルス感染症については、執務中のマスク着用、手指消毒装置の設置・使用、デスク間にパーテーションを設置するなどの感染対策に加え、新たに CO_2 濃度測定器を設置するなど引き続き感染防止の徹底に努めております。

また、非接触型体温計で随時測定、午後３時にはラジオ体操を行うなど日々の健康管理にも留意しています。

職員健康診断の結果、「要再検査」率が高いことから、生活習慣の中でも食生活に関する知識向上を目指すことを目的として、組合管理栄養士作成の健康講話（DVD）の提供を受け、各自で視聴しました。

机にはパーテーションを設置しています

毎日ラジオ体操を実施しています

ホームページ http://www.dobokukenchiku-kouseikai.or.jp/others/torikumi.html

丸善土木株式会社

所在地 長野県松本市南原二丁目20番4号

事業内容 土木・舗装工事

従業員数 20人

（令和４年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営への取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の有所見率の高さでした。疾病の改善や健康保持について、全国土木建築国民健康保険組合の東京健康支援室に相談させていただき、健診内容やオプションをどうグレードアップさせていくか等を議論してきました。その中で健康経営としての取り組みや健康経営優良法人認定制度についても情報提供があり、働きがいのある職場づくりと職場だけでなく家族の健康にも力をいれるため毎年様々な提案をいただきながら、可能な限り実践しております。また、2021年度からは『こころの健康づくり』にも重点をおき、ストレスチェックを実施しています。「からだ」と「こころ」の両方の健康を保持できるよう活動していきたいと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

①定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員は人間ドックに変更した。（各種補助制度の説明を行い「女性特有の健診等」オプション追加も可能）

②運動の推進として2020年度にはバランスボールを全社員に配布、kencomで年2回開催されている「歩活」への参加

③感染症対策として2021年度には「マスク・アルコール消毒液」の配布や各工事現場へのアルコール消毒液の設置を行った。

④社内インターネットを使用し、どけんぽ保健師・管理栄養士作成の動画配信（※）や東京健康支援室発行の「けんこう通信」の配信

※2022年度はヘルスアップチャレンジ助成金を活用し、教材として「塩分計」を購入・全員に配布。生活習慣病についての講話内で塩分や塩分計に関する教育を受けた。

⑤ストレスチェックの実施

⑥禁煙対策として屋外喫煙所の設置

配布した塩分計とどけんぽ保健師による講話資料

社内インターネット掲示板で健康情報を配信

ホームページ https://www.maruzendoboku.co.jp/pages/38/

株式会社オクミカワ

所在地 愛知県北設楽郡設楽町清崎字水口５番地２

従業員数 13人

（令和３年４月末現在）

事業内容 建設業（舗装工事業）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

過疎化の進む地域で、従業員の高齢化が進み、人材不足の状況です。健康経営に取り組むことで従業員の士気が上がり、生産性が向上し、離職率が下がり、求人活動で有利になる　を期待しておりますが、当社のモットーである【1,明るく；家族も従業員も健康で、明るく、仲良く。2,まじめに；うそをつかない、真心があり、誠実で地域社会に貢献する。3,一生懸命；全力をあげて会社の発展・継続に力を尽くす。】

家族・地域社会・会社のために働くには、まずは『健康が第一』名古屋健康支援室のヘルスアップチャレンジに参加して、指導を頂きながら取り組みました。

特に力を入れた取り組みとその効果

1, 生活習慣病対策と女性の健康保持増進については定期健康診断の充実で、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推奨を行い、費用補助及び特別休暇付与を実施しました。今まで基本の健診しか受けなかった従業員が人間ドックを受診するようになり、またがん検診のオプションも自主的に受けるようになりました。（健康意識向上）

2, 感染症対策は従業員の毎朝の検温の実施、マスク・消毒液の配布を行い、予防接種の費用補助、接種時間の出勤認定を実施しました。ここ数年、家族を含めインフルエンザ感染者はいません、もちろん新型コロナウイルスの感染者もいませんが、引き続き会社としての感染対策を実施して新型コロナウイルスに打ち勝ちます。

毎日の朝礼時のラジオ体操

感染症予防対策

ホームページ https://www.okumikawaweb.com

朝日建物管理株式会社

所在地 大阪市北区中之島2-3-18　中之島フェスティバルタワー

従業員数 1167 人
（令和４年７月末現在）

事業内容 ビルメンテナンス

健康経営に取り組むようになったきっかけ

ビルメンテナンス業界は当社も含め、多くの高齢の方に現役で頑張っていただいて成り立つ業界です。これまでも老若男女問わず従業員の方が元気に笑顔で働ける職場を目指してきましたが、全国土木建築国民健康保険組合が開示している「健康度ランキング」で2017年度4位、19年度1位の評価をいただきました。従業員自身の健康に関する意識が高いことが分かり、会社としても何とかバックアップしたい、労災や通災、病気による休職を減らす力になりたい――というのが本格的に健康経営に取り組むきっかけになりました。ストレスチェックや、健康診断の受診率をあげ、疾患のある人は放置せずに積極的に治療にあたってもらえるよう、厳しい指導もしますが、人間ドックの自己負担分を会社が補助する制度を作るなど優しい制度も作りました。

大阪健康支援室のご担当者様から弊社用に作成された「健康経営度調査用集計データ」を確認することで、会社で実施している健康への取り組みを振り返りながら、これからも従業員がいきいきと元気に働き続けられるように、健康づくりを積極的に支援し、継続的な「健康経営」を進めていきたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

どうしても直近はコロナ感染対策が中心になりました。早々に新型コロナウイルス対策本部を設置し、在宅勤務や体調不良時の特別休暇の導入など制度を整え、従業員や従業員の家族にワクチンの職域接種の機会も設けました。事務所の各デスクにはアクリル板を設置し、消毒液やマスクを常備するなど感染対策を徹底しています。また医療用の抗原検査キットを確保し、感染した従業員・家族に配布することで、濃厚接触者に該当した方に迅速に対応することができています。また、ビルメンテナンス会社として早々に協力会社と手を結び、困っているテナントさんの特別消毒なども積極的に請け負いました。社内で感染を拡大させない、業務に大きな支障を出さないことを目標に、感染対策に力を入れています。そして、ここ数年は中止になった実業団駅伝などにも、また参加できる日を期待して日々の健康作りに取り組みます。

従業員・従業員家族　希望者職域接種会場

テナント特別消毒作業実施

ホームページ 健康経営｜会社案内｜朝日建物管理株式会社（asahitatemonokanri.co.jp）

株式会社オカモト・コンストラクション・システム

所在地 兵庫県尼崎市七松町2丁目27番23号

従業員数 52人
（令和４年７月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、建設業において建設現場の安全確保は最も重要なものであり、従業員の心身の健康維持・増進はその基礎となるという考えから、健康診断受診率100%や任意健診勧奨等健康促進に力を注いできました。

また建設現場では大勢の人達がチームを組んで仕事をするため、従業員及び協力会社間のコミュニケーション促進の機会として新年会などを会社が開催しており、それは職場風土づくりやメンタルヘルスにもプラス効果をもたらしています。健康経営に積極的に取り組むことで働きやすい職場環境をつくり、仕事に対するモチベーションを上げることも目的のひとつです。

当社は2019年度から経産省の健康経営優良法人認定を取得していますが、目に見える形で、より効果的な健康経営の立案・実施、企業イメージアップに繋がっており、今後もブラッシュアップしながら認定取得の継続を目指しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康診断受診率100%を継続し、再検査・精密検査が必要な社員には個別勧奨や人間ドック等の任意健診の受診を促すなど健康維持の施策に取り組んでおり、現時点において生活習慣病重症者0人を維持しています。また、定期的に産業医による講話や社内報、土健保からのけんこう通信により、健康関連情報の周知を図っています。

社内に階段移動を促すポスターを掲示したことで、階段利用者が増加し従業員への運動の習慣付けに成功しました。また、2022年春に開催された歩活にも参加し、社員同士で歩数を競い合いました。運動面のみならずコミュニケーションの活性化にも繋がるなどプラス効果を実感しています。

コロナ感染対策については、各フロアにパーテーションやアルコール、空気清浄機を設置し、1日2回消毒・換気のアナウンスをするなど社員総出で感染予防に取り組み、習慣付けています。現場事務所においても同様にパーテーションの設置やポスターを掲示し感染対策を徹底しています。またZOOMの普及や遠隔操作機材を強化し、会議の質を落とすことなく3密の回避を浸透させることができました。

上記のとおり感染対策を徹底し、コロナ感染者を1人も出すことなく仕事に従事しています。

全社員へ向けて
産業医による
健康講話の実施

各階にて徹底的なコロナ感染対策の実施

株式会社奥村組

所在地 大阪府大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

事業内容 総合建設業

従業員数 2,123人
（令和４年３月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、「社員一人ひとりが心身ともに健康であること」を念頭に、職場で働く全ての社員が元気にいきいきと働ける環境を整えることが重要と捉え、2021年10月に社長を健康管理最高責任者（CHO）とする「健康経営推進体制」を構築のうえ、全社に向けて「健康経営宣言」を発信しました。

また、当社の「2030年に向けたビジョン」の一つに「人を活かし、人を大切にする、社員が誇れる企業へ」を掲げており、これらを実現するためにも、健康経営を推進し「従業員幸福度」を向上させることが大切だと考え、様々な健康経営施策に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

新型コロナウイルス感染症対策として、当社社員をはじめとする関係者（社員の家族、取引先、協力会社等）の皆さんが一日でも早く安心して暮らせるよう、大阪と東京の2箇所で新型コロナウイルスワクチンの職域接種を3回にわたり実施しました。接種した社員からは、「感染や重症化リスクを軽減できた」「高齢者と同居しているため、早期に接種できて安心した」などたくさんの感謝の言葉がありました。

また、職域接種以外にも社員に対して、毎日の体調管理の徹底等一人ひとりが注意すべき事項を周知するとともに、テレワーク、フレックスタイム制やオンライン会議を推奨することによって接触削減を図り、感染リスクを可能な限り回避するよう対応を徹底しています。

奥村組は、社員の健康づくりを積極的に支援し、いきいきと活躍できる職場環境づくりを推進することで、社員一人ひとりのウェルビーイング(※)を実現します。
当社は、関係するすべての人とともに豊かさを分かち合い成長し続ける企業でありたいとの思いから、「2030年に向けたビジョン」の一つに「人を活かし、人を大切にする、社員が誇れる企業へ」を掲げています。これらを実現するためにも、まずは社員が心身ともに健康で、さらには個性や能力を最大限に発揮することができる環境を整えることにより、EH(Employee Happiness)/従業員幸福度を向上させることが大切だと考えています。

(※)身体的・精神的だけでなく社会的にも健やかな状態

株式会社奥村組
代表取締役社長 奥村 太加典

健康経営宣言

新型コロナウイルスワクチン
職域接種会場

ホームページ
健康経営｜ESG/SDGsについて｜サステナビリティ｜奥村組
(https://www.okumuragumi.co.jp/health_management/)

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

所在地 大阪府茨木市西駅前町5番26号

従業員数 852人
（令和３年８月末現在）

事業内容 高速道路の維持管理

健康経営に取り組むようになったきっかけ

近年、働き方改革やパンデミック恐慌により働き方の多様性が求められています。当社は、高速道路の維持管理を行う会社であり、「高速道路の100%の安全・安心を提供する」ことは、当社の使命であり、責務です。健全に業務を遂行するためには社員の健康管理は必要不可欠であると考えています。

そういった中、社員の健康管理や増進を企業全体で取り組み、イキイキ職場実現のために様々な施策を実施しています。また、求職者においても、働き方の多様性が注目される重要なポイントとなっており、健康経営に取り組むことは必然となっています。取り組み内容を「健康経営優良法人」に申請し認定を受けることで対外的な企業アピールにも繋がると考えています。

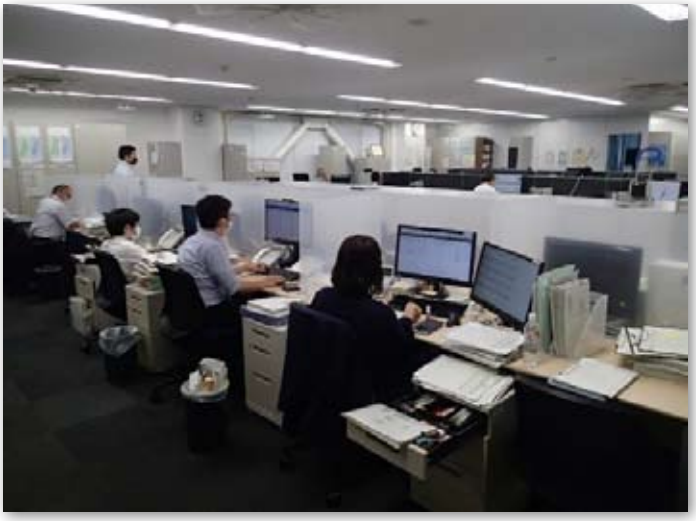
特に力を入れた取り組みとその効果

コロナウイルス感染症対策として、以下のとおり実施・対策を講じました。

①対策本部を設置（令和2年3月2日）し、感染（疑い含む）した場合の連絡体制および報告方法を周知。また、出勤扱いのルールや感染予防対策を全社員に通知。継続的に対策会議を開催し、対策内容を全社員に通知。②執務室および会議室に空気清浄機、加湿器、二酸化炭素濃度計の設置。③マスク、アルコール除菌シートを常備確保。社員に配布し予防の徹底。④1階エントランスに体温測定器設置。⑤各執務室入口にアルコール消毒液設置。⑥執務室内座席にアクリル板の設置。⑦時差出勤、テレワークを活用。⑧リモートによる会議・打合せの実施。⑨ワクチン接種日（および翌日）に特別休暇付与。

効果としては、上記対策を徹底することで、業務を停止させることなく確実に遂行しています。

入口に体温測定器、アルコール消毒液を設置


執務室にアクリル板を設置

豊開発株式会社

所在地 大阪府大阪市中央区上汐2丁目5番29号

従業員数 17人
（令和３年７月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2017年に土健保の健康経営を応援する事業としての取り組みである「ヘルスアップチャレンジ」の健康事業所宣言の申込を行い、健康経営について考える機会を得ました。

かねてより社員の高齢化に加え、新たな人材確保が困難であるという問題を抱えていた為、主戦力であるベテラン社員の健康維持と、健康を通じ会社の価値を向上させることを目標に「健康経営」の取り組みをスタートさせました。

特に力を入れた取り組みとその効果

運動推進としてウォーキングイベント「みんなで歩活」に2018年から参加している。当初参加者は2名であったが、毎年参加人数が増え2021年春の開催には、遠方出張者と新入社員がエントリーに間に合わなかったものの他の社員は全員参加でき、運動習慣とコミュニケーション促進に効果があった。

新型コロナの感染防止対策として、出入口へ検温器付きの非接触消毒液設置、長期休暇明けのPCR検査の実施、社内各所に消毒液配置、社員全員にパルスオキシメーターを配付し、感染予防に効果があった。

テレワーク環境を整備し希望する社員にはテレワークを実施し、乗換の多い通勤時の感染リスク回避とともにライフワークバランスの実践につながった。

みんなで歩活の案内ポスターを掲示

出入口の検温器付き非接触消毒液

株式会社共立エンジニヤ

所在地 島根県松江市西津田二丁目13番7号

従業員数 63人

（令和４年７月末現在）

事業内容 建設コンサルタント

健康経営に取り組むようになったきっかけ

全国土木からのお話をきっかけに健康経営に取り組み、企業価値の向上と生産性の向上を目指し、社員の健康を第一に考え取り組んでおります。

社員が心身共に健康でいるために、会社として社員の健康に配慮し、長く健康に働ける環境を整えるよう、より良い健康経営に取り組んで参ります。

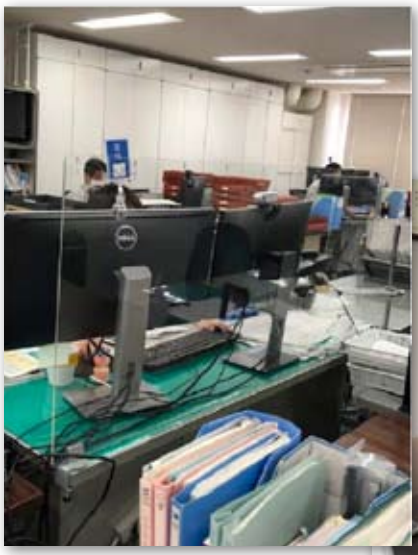
特に力を入れた取り組みとその効果

【感染症対策に向けた取り組み】

当社では、新型コロナウイルス感染予防対策を昨年以上に力を入れ取り組みました。

以前から設置している正面玄関、社員通用口に非接触式検知器サーモグラフィーカメラ付での体温測定を習慣化し徹底する事ができています。それに加え、社員のデスク、応接室にパーテーションを設置して社内での感染予防を更に強化しています。また抗原検査キットを準備し、県外への出張、単身赴任者への帰省の際には、検査が実施できる環境を整え、社内へのウイルス持ち込みを未然に防ぐ事ができています。

終息する事のない新型コロナウイルスに今後も社内での感染予防を更に強化していきたいと思っております。



社員のデスクへ
パーテンションを設置し
感染防止対策

社内で準備の抗原検査キット

畠山建設株式会社

所在地 広島市安芸区船越南3丁目9−3

事業内容 建設業（大工工事、防水工事）

従業員数 12人
（令和４年６月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

全国土木建築国民健康保険組合　広島健康支援室担当者様よりお声掛け頂き、会社全体で健康経営に取り組むことになりました。

従業員の健康を第一に考えることにより、従業員が元気で生き生きと仕事に取り組め、結果的に会社の生産性向上につながると考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

新型コロナ感染症対策として、①空気清浄機の設置（ヘルスアップチャレンジ助成金を利用）②社内レイアウトを変更し、隣の座席との距離を1m以上あけ、パーテーションの設置を実施しました。

また、インフルエンザ予防対策として、全国土木の補助制度を利用し、自己負担分を全額会社負担とすることで、従業員の費用負担を減らし、多くの従業員がインフルエンザ予防接種を受けられるよう体制づくりに努めています。

空気清浄機の設置（助成金利用）

パーテーション設置

蜂谷工業株式会社

所在地 岡山県岡山市北区鹿田町一丁目３番16号

従業員数 132人

事業内容 総合建設業（建築、土木、水処理プラント）

（令和３年８月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2016年にどけんぽの保健師さんから「ヘルスアップチャレンジに参加してみませんか」とお話しをいただいたのがきっかけです。組合のヘルスアップチャレンジへの参加が健康経営優良法人認定制度への申請の登竜門となりました。以降、毎年色々な取り組みを組合の方から提案をいただいており、可能な限り社員の健康管理に活かす取り組みを実践しています。例えば、「歩活（あるかつ）への参加」や「食育セミナー」、「体力測定会」などです。

健康経営優良法人認定の新聞報道や名刺へのロゴマークを見たお客様や協力会社、学生の方々から、社員の健康管理に力を入れている会社だと良い印象を持っていただいております。

社員からは「こんな取り組みをして欲しい」「他社さんはこんな事をしている」というアイデアや意見が活発に出るようになっており、今まで以上に健康管理の大切さが社内に定着してきたと感じています。

毎年行っている社内満足度調査の項目「会社が健康や安全に配慮している」について2020年は73%（2016年は49%）の社員が「そう思う」を選択しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病健診の実施100%は20年以上継続しており、その再検査率は2020年98%でした。健康経営に取組む以前の再検査率は30%程度でしたが、「早期発見、早期治療」をスローガンに掲げほぼ全員が再検査を実施しています。生活習慣病健診のオプションとして胃検診、腫瘍マーカー検査、女性特有のガン検診を全額会社負担で実施しています。約80%の社員がそれらを利用しています。

2015年より特定保健指導を就業時間内に本社および作業所で受ける事のできる体制が整っており、例年対象者全員が受診しています。

本社敷地内の自販機は、健康的な飲料（水・お茶・トクホ）の価格を下げる事で、健康意識が向上しています。

近所のクリニックと協力して「禁煙外来費用の全額補助」を4年前から行っており、毎年1人ずつですが禁煙に成功しています。またクリニックには「インフルエンザの社内接種」にも協力いただいており、毎年多くの社員が就業時間内に接種を行っています。

長時間労働対策として、ノー残業デーの導入やワークボードを利用しての業務の見える化、全社員へ時間外労働の公表等を行っています。その結果、時間外労働は大幅に減り平均30時間を下回っています。

社内インフルエンザ予防接種

どけんぽの保健師さんと社員体力測定会

ホームページ http://www.hachiyakogyo.co.jp/company/health/

株式会社愛亀

所在地 愛媛県松山市南江戸２丁目660番地１

従業員数 204人
（令和３年７月末現在）

事業内容 舗装工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は、以前は安全管理には力を入れておりましたが、健康管理については各個人任せにしていたこともあり、病気休職者や体調不良者がいても、「1人暮らしだから食生活が偏っているのだろう。」「ヘビースモーカーだしな。」「インフルエンザは、罹ったらしょうがないよね。」などと、他人事で済ますことが習慣となっておりました。

ところが、建設業界の人材確保と定着が困難になっていき、従業員1人に対する仕事量や責任、負担が大きくなり、「この人が倒れたら、その後大丈夫だろうか。」「この人の代わりはいないのだけど。」と不安とリスクで社内も重たい雰囲気となっておりました。

その様な中、健康経営という言葉を耳にしたときに、健康な体こそが、円滑な仕事や安全作業をもたらし、お客様の信頼に欠かせないこと、また、災害時等の緊急時にも十分な体制を整えられるのではないかとの思いから健康経営に積極的に取り組むこととなりました。

従業員の心も体も満足のいく会社づくりを通して、街のインフラを支える事業団として、地域のために家族のために誇りをもって、今後も仕事と健康管理に取り組んで行きたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、新型コロナの感染症予防対策には徹底して取り組んできておりました。そんな中、令和3年6月、「ワクチンの企業による職域接種」の報道発表があり、当社の代表が「うちの会社でやれないだろうか?」と社員に投げかけました。それが経験したことないとてつもなく大変であること、国や自治体の業務を代行するという重要な任務であるということは十分理解しておりましたが、会社の根本である従業員やその家族を大切に思う代表の理念を感じ、取り組むこととなりました。

もちろん、社内で新型コロナ陽性者が発生した場合に業務が停滞するリスクを回避したいという思いもありましたが、少しでも早く行動し、集団免疫により健康な社会を取り戻したいという願いがありました。

医師・看護師以外は、会場設営や医療補助スタッフ、接種済証の発行などはすべて当社グループの職員が手分けして担い、従業員や協力会社やその家族を対象に、1200人のワクチン接種を愛媛県では先行的に始めることができました。

「元の生活を取り戻すよりも、新しい世界をどう生きるか。」常に好奇心をもって次の時代に進み、「インフラの町医者」の使命を果たしたいと思います。

愛亀グループ事業本部　大ホールの接種会場

従業員が協力して、受付案内している様子

ホームページ https://www.ikee.jp

株式会社ヒカリ

所在地 香川県丸亀市田村町1238

事業内容 建設業　フィットネスクラブ運営他

従業員数 102人

（令和３年６月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

3年前、健康経営優良法人認定制度を初めて知り、社員が心身ともに健康で元気に働ける会社を目指して、健康経営に取り組んできました。

以前から取り組んでいる、健康診断の全員実施、毎日のラジオ体操や感染症対策などに加え、こころの健康づくりや長時間労働への対応を行い、健康経営をさらに意識するようになっています。

生涯ありがとうの笑顔を数多く作りたい、様々な生活のシーンでお客様や地域の皆様のお役に立ちたい、との思いで、ファーストコールカンパニーを目指しています。社員が心身ともに健康で、活き活きと仕事ができるように今後も積極的に健康経営に取り組んでまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社においては、自社で運営しているフィットネスクラブレフコを定期的に開放し、社員が自由に利用できるよう運動機会を提供し、運動不足の解消やリフレッシュを図っています。

感染症対策として、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、マスク、アルコール消毒液等の配布を行い、徹底した対策を行っています。

また、コロナの影響で昨年から延期していますが、社内運動会や社内旅行などコミュニケーション促進を目的としたイベントを実施しています。

社員の働きやすい環境を整え会社全体の生産性向上に繋がればと期待しています。

社内旅行集合写真

フィットネスクラブレフコ利用時の写真

横田建設株式会社

所在地 香川県丸亀市城東町一丁目４番１号

従業員数 30人

（令和３年８月末現在）

事業内容 土木工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

近年、建設業においては従業員の高齢化が進んでいます。当社においても40歳以上の従業員の比率が年々増加し、従業員の健康管理の配慮、健康保持増進の重要性を認識。2017年、全国土木建築国民健康保険組合とコラボして「健康経営」に取り組むことを目的にヘルスアップチャレンジ宣言をしました。会社と従業員が一体となって健康づくりに取り組むことで全従業員の健康度アップ、モチベーションの向上さらには企業イメージアップにもつながり若年層にも魅力ある職場として受け入れられるようになるのではないかと思い、健康経営に積極的に取り組むこととなりました。

特に力を入れた取り組みとその効果

毎年、全国土木建築国民健康保険組合による保健指導を事業所にて従業員に実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響下では、訪問での指導に替え、健診データの所見に応じた資料、生活指導などを添付した文書を郵送してもらい、各従業員に配付することで自己の健康課題の把握・認識・改善できる環境を整え維持しました。当社では健康診断後の再検査・精密検査の受診率は64%まで向上し、早期治療に繋がっております。今後は受診率100%を目指しております。

新型コロナウイルス感染症対策については、従業員の手指消毒などは定着・習慣化されていたためスムーズな対応ができました。ヘルスアップチャレンジの助成金を利用し除菌ブロッカーを購入し、従業員に配付。丸亀市withコロナ事業継続応援補助金を利用して、ウイルス除去機能付き空気清浄機、CO2濃度測定器、飛沫感染予防パーテーション等を購入し感染予防対策を強化しております。現時点では従業員一人一人が感染予防対策に心がけているため、陽性者の発生はありません。

色と数値で CO_2 濃度を見える化し換気

ウイルス除去機能付き空気清浄機を設置

ホームページ http://yokota-cc.com/

株式会社佐藤技建

所在地 福岡県北九州市小倉北区赤坂３丁目5-61

従業員数 26人

（令和３年７月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は創業70周年を迎え、若手からベテランまで男女問わず活躍できる企業を目指し日々励んでおります。また、定年年齢の引上げや定年後の継続雇用制度の導入により、高年齢の社員も多数活躍しております。全社員が心身ともに元気に働ける企業となるためには、社員一人一人の健康に対する関心・意識の向上が不可欠となってきます。

そこで弊社では、会社全体で率先して健康経営に取り組み、社員の健康づくりの取り組みを推進する様になりました。会社全体で協力して健康保持・増進に取り組むことで、コミュニケーションの機会が増え、社内の一体感の構築にも役立てることができました。

今後も社員一人一人が心身ともに健康でいきいきと働ける企業となるため、健康経営に積極的に取り組んでまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

ヘルスアップチャレンジ助成金を一部活用して社内に血圧計、体組成計、体温計、血中酸素飽和濃度測定器を設置し定期的に使用することで、自らの健康状態をチェックし生活習慣の改善につながっています。定期健診(人間ドック)受診時間の勤務時間認定や費用の全額補助により、健診受診率100%を達成しています。(健康増進及び生活習慣病対策)

マスク、手洗い石けん、アルコール消毒液などの配布や、予防接種(新型コロナ、インフルエンザ)の勤務時間認定により接種率を上げ、感染防止に努めています。感染症予防についてのポスターを掲示し、メール等でも情報を発信することで、手洗いの習慣化、三密回避、換気、マスクの徹底など注意を払いながら業務を遂行しています。(感染症対策)

体組成計で健康状態をチェックしています

血中酸素飽和度を日々記録しています

ホームページ http://www.satogiken.com/ap/news?pn=1&cid=1&id=30

杉山建設株式会社

所在地 熊本市東区御領二丁目14番64号

従業員数 15人

（令和3年8月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設現場では、喫煙しながらコミュニケーションをはかるのが一般的と捉えている方が多いためか喫煙率が高い。そのためか高血圧や脳梗塞などの生活習慣病にかかる従業員が多かった。

また、健康への意識が低く、定期的な健康診断の受診も従業員全員は難しい環境だったため、まず、健康診断の受診率を100パーセントにすることから始めたいと考えた。

従業員の健康維持に向けての意識改革・健康増進（定期健康診断の受診）、生活習慣病対策（禁煙・糖分の過剰摂取の抑制）、感染症対策に取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康増進を図るため、健康診断の受診率を100％にした。その健康診断結果に基づいてどけんぽの保健師・管理栄養士による保健指導も実施している。また、飲料に含まれる糖分の取り過ぎを防止するため、社内の自動販売機を撤去し、「水・お茶」などの糖分を含まない飲料を常備し、配布している。そのため、体重の大幅な増加は見られない。

禁煙対策のため屋内は禁煙とし、喫煙所を屋外に設置したところ、これまでは作業をしながら煙草を吸っていたが、作業を中断し喫煙をしなければならなくなったため、喫煙本数が減った人や禁煙に成功した人が数名みられている。

感染症対策のため、玄関、トイレなどにアルコールの設置、手洗いうがいを推奨するためのポスターを掲示した。昨年度及び今年度の感染症罹患者はいない。

社内冷蔵庫に常備している水・お茶

助成金を利用し購入した加湿空気清浄機

ホームページ https://ameblo.jp/sugiyama-corp/entry-12695433702.html

株式会社中野建設

所在地 佐賀県佐賀市水ヶ江２丁目 11-23

従業員数 266 人

事業内容 総合建設業

（令和４年６月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は、総合建設業として社員と社員の家族の健康と安全を守り、地元佐賀県と共に発展し、地域に貢献する企業を目指しています。

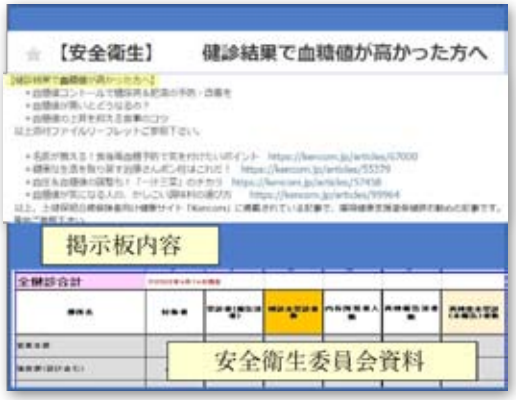
昨今の建設業を取巻く環境は、団塊の世代の定年、就労者の高齢化、若年技術者及び女性技術者の不足など、建設業に携わる労働人口の大幅減少の問題に直面しています。弊社ではこれらの諸問題への対策として、ICT技術の活用による建設現場の生産性向上、IT活用による経営・事務作業の効率化等により、建設業として取り組みが遅れがちな「働き方改革」にも率先して取り組んでいます。効率的な生産活動を継続する為には社員や家族が健康でなくてはならないという理念の下、社員が健康でやりがいを持って生き生きと働ける企業であり続けるために健康経営に取組みました。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社の定期健康診断結果を見ると、有所見率が48%、その中でも血糖の有所見率が高くなっていました。これらの改善のために血糖対策に特化し、社員に対して「血糖値改善」について、掲示板にて情報発信を行い、有所見者数の減少に取組んでいます。また、有所見者を所属長へ報告し、所属長より再検査へ行くよう指導しています。毎月の安全衛生会議にて、有所見者の再検査報告を行い、100%達成まで進捗報告を行っています。

佐賀県が推奨するウォーキングアプリ【SAGATOCO】を活用し、ウォーキングを推奨しました。役員を筆頭に多くの社員が登録しており、毎月、ウォーキング歩数上位者にはクオカードを贈呈し、ウォーキングを通じた社員の健康づくりの推進を行っています。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、社屋内に消毒液、検温機、空気清浄機を設置し、定期的に窓を開け換気を実施しています。来客は基本、アポイント有りのみとし、受付対応は対人ではなく、電話応対へ変更しました。また、社員へのコロナワクチン接種推奨を推進し「ワクチン休暇」を設定しています。



アプリの紹介と
表彰に関する
社内掲示板内容

感染症対策として
社内に設置
しているもの

ホームページ https://www.nakanet.co.jp/?page=topics&no=1099&cate=1&yy=2022&#topics

株式会社中野工務店

所在地 熊本県宇城市小川町新田1914-1

事業内容 建築工事業（型枠工事）

従業員数 47人
（令和３年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

どけんぽ福岡健康支援室との年一回の担当者打合会において初めて健康経営の話を聞き、どんなものだろうと思いながらまずはヘルスアップチャレンジに宣言しました。

健康支援室から助言をいただきながら実際に健康に関する様々なことを計画・実践してみて、事業主としては労災事故の防止に繋がり、従業員には安心して働ける職場に繋がっていくのだと実感しました。

また、健康経営優良法人認定取得を求人票にも載せています。いい人材を獲得できることを期待しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健康診断は毎年実施率100%です。オプションの腫瘍マーカー検査費用も全額会社が負担し、身体の異常を早い段階で発見できるようにしました。健診結果から要再検査・要精密検査対象者には受診を勧め、受診を渋る社員には上司若しくは社長が受診勧奨を行い、受診結果も報告するよう指導しています。特定保健指導も会社として勧めており、今のところ初回面談は100%実施できています。

感染症対策として新型コロナウィルス感染防止対策はもちろんのこと、インフルエンザの予防接種も勧め、費用は保険組合補助額の差額分を会社が負担しています。なお、家族分も組合への補助金申請のサポートを行っています。

また、現場に設置した自動販売機に健康的な飲料を勧めるポスターを掲示し、過剰に糖分を摂取しないよう取り組んでいます。

このような取り組みを続けることで従業員も健康の大切さを真剣に考えるようになりました。

熱中症対策として会社支給の空調服

自動販売機に健康的な飲料を勧めるポスター掲示

株式会社渡辺組

所在地 鹿児島県鹿児島市武二丁目４番１号

従業員数 155人

（令和４年７月末現在）

事業内容 総合建設業（建築一式工事、土木一式工事）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、経営者が「経営の基本は健康である」という理念を掲げていることから、以前より従業員の健康増進に向けて様々な取り組みを積極的に行ってきました。その中の1つに「健康目標制度」というものがあります。これは毎年1月に1年間の健康づくり活動について、各人が目標を設定し、その後の達成状況を報告するものです。優良者には報奨金として金一封が贈られます。

その他、人間ドック・予防接種の費用補助、年2回のゴルフ・ボウリング大会及び懇親会にて従業員同士のコミュニケーションを図る等、健康経営の推進に取り組んでいます。従業員一人ひとりの士気が高まることで、会社のイメージアップにも繋がります。2017年には鹿児島県内で初めて健康経営優良法人に認定され、その後も継続して認定されています。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、定期健康診断の受診率100%を目指して取り組んでいます。人間ドックの費用を会社が半額負担することで、全従業員が受診しやすい環境を整えました。その結果、受診率100%を達成することができました。また、産業医による衛生講話を年1回実施しています。2020年は新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、日々の健康管理の大切さや体調に異常を感じた際の対応等についての講話を実施し、従業員の健康に対する意識の向上に繋がりました。

そのほか、当社では働き方改革実行委員会主導による毎週水曜日のノー残業デーの徹底や、5日以上の連続休暇の取得を義務付ける制度を設け、休暇取得を促進しています。こうした取り組みを続けることで、従業員一人一人が業務の効率化を図り、ワークライフバランスの実現を目指しています。

今後もこれまでに行ってきた取り組みを継続しながら、さらに全従業員の健康維持増進対策等にも取り組んでいきたいと思います。

ノー残業デーの社内掲示板

地域のボランティア活動

ホームページ https://k-watanabegumi.co.jp/helsup/